

北海道

大野農・七飯・八雲連合が開幕一番星

▽タロウ1回戦
大野農・七飯・八雲
000 112 102
011 000 111
56

函館水産
大野農
近藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤
佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤
佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤
佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

開幕試合で今季北海道一番星を挙げたのは、大野農・七飯・八雲の連合チームだ。同点で迎えた9回2死

満塁で6番の木田陽久(七飯3年)が左前へ勝ち越しの2点適時打。内角直球を狙って打つ「エースが頑張っていたのでサポートしたかった」と胸を張った。

昨秋は全道大会に出場した函館工と対戦し、8回に4失点して逆転負け。エースで4番の近藤結斗主将



(上から) <大野農・七飯・八雲> VS 函館水産 > 9回2死満塁で勝ち越し左前打を放った木田陽久(七飯3年)は「投げ急いだ」と15安打されながら155球を投げた。近藤主将

昨秋の悔しさがあって、冬場も学校の連合を乗り越えて連絡を取り合ってきた。合言葉は「工とやるまで負けられない」。

▼函館水産藤沢慶太主将(3年) 試合ができて、ありがたかった。一人一人、練習の成果は出せた。
▼同佐藤(3年) 投げるのは、最後の方は限界に近かった。(7回の適時打は)腰をケガしている中で意地で打った。

い。合同練習を一度もできない中で抜群のチームワークを発揮した。もう1勝して、リベンジの舞台をつかみ取る。

(令和2年7月12日(日))
木田陽久 112 102



<大野農・七飯・八雲> VS 函館水産 > 開幕勝利して校歌を歌う大野農・七飯・八雲連合チーム